

総合調査設計株式会社 Sogo-Chosa-Sekkei Co.,Ltd. presents



「本当のカナダ」からの手紙”



「**モントリオール都市型
サイクルシェアリング**」

BIXI

モントリオールの都市型サイクルシェアリング「BIXI」を体験してきました。BIXI と呼ばれるこのシステムは今年で2年目を迎え、利用状況はおおむね良好で初年度の収益は黒字だったそうです。

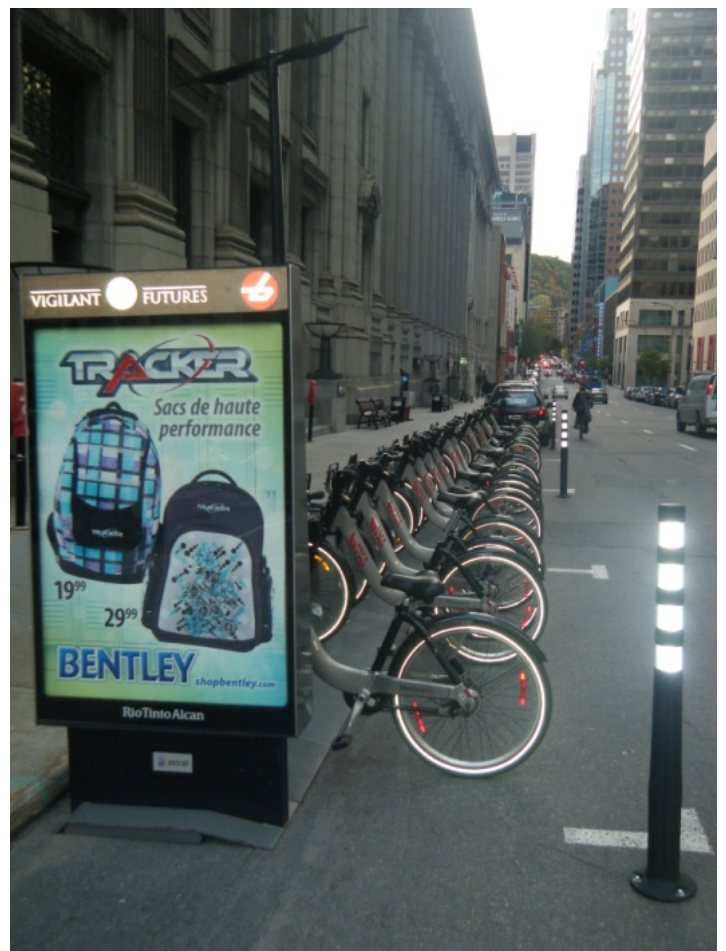
利用料金は、初めの24時間は5ドル、その後30分ごとに追加料金が加算され、支払いはクレジットカードのみとなっています。また、定期利用もあり、年間では78ドル、月額では28ドルという料金が設定されています。観光客向けというより現地の住人向けで、料金設定は地下鉄やバスよりも安い設定になっています。

試乗レビュー

ポートはダウンタウンとその周辺の住宅地を中心にほぼ2ブロック（1ブロック=200m×80m）間隔で設置されており、「わざわざ借りに行く」という感覚は全くありません。市内には現在およそ300を超すポートがあり、もちろん、どこで乗り降りしてもそれは利用者の自由です。乗り心地ですが、私自身自転車好きでこれまで何台も所有してきましたが、初めて体験する感覚でした。一言で表現すると「安定感抜群」といったところです。ママチャリが軽四なら、BIXIはベンツと表現してもいいくらい安定感がありました。



●ポート状況



ヘルメット着用義務はありませんが、自転車専用道もしくは自転車道を走行すること、自転車道がない場合は自動車と同様に走行するといったルールが課されます。もちろん一方通行の道を逆走すること、歩道での走行は禁止です。



●自転車レーン



●BIXI ハンドル部詳細

●ソーラーシステムによる自動発券機

環境への配慮

このシステムは、すべてが環境と関連しています。自動発券機はソーラーシステムで稼働しており、自転車の素材はすべてリサイクル可能であり、駐輪場のスポンサーは電力会社や資源会社など、システムを通じて人々に環境にやさしい都市をアピールしているという点です。ロンドン、パリ、ニューヨーク、ボストン、その他の都市との都市間競争に負けまいとモントリオールも必死の様子がうかがえます。もはや環境を語らない都市は都市間競争の土俵にも立てない時代だと強く感じました。

